

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月1日 ～ 2026年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2026年 1月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達状況や課題について 職員間での共通理解をしたうえでの個別支援	・職員間で相互理解を大切にして、 児童の情報や状況を口頭で確認、日々の支援に活かしている。	・北海道ユニット内での内部研修や外部研修などにより、 様々な事例を学ぶことで多角的な視点を養い、広い視野での 観点を持って、トータルとして療育の質の向上へと勤めてい きます。
2	・専門性を大切にしたい支援	・職員の経験や得意分野などの背景から、チーム全体で支援し ている。異なる視点やスキルを組み合わせることにより包括的 な支援を行っています。	・職員の継続的な学習とトレーニングを重視し、専門知識や 技術を常にアップデートし、最新の情報や技術を取り入れる ことで質の高い支援を提供できる様に取り組んでいきます。
3	・相談支援	・保護者様からのフィードバックを積極的に取り入れること で、サービスの改善に役立てます。職員間で、反省点や成功例 を互いに共有することで支援の質の向上に寄与いたします。	・保護者様中心のアプローチとして、ニーズや希望に応じ て、個別に対応。個々の状況を詳しく理解し、適切な支援提 供を目指します。 ・定期的なフォローアップとして、家族支援や事業所内見学 を定期的に行うことで、保護者様との更なる信頼関係の構築 を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練、社内研修などの活動に関する周知や報告	定期的な避難訓練の実施や社内研修などの発信が保護者様へ伝 わっていないケースがある。	・LINE、ブログでの周知に取り組んでいるが目に留まりにく い。写真など視覚的なコンテンツを増やし作成、多くのご家 庭の目に留まりやすいデザインなどを再検討し実施していく 必要がある。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 34名

回収数 26名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3	1		・支援が終わり、その日の内容などを先生から確認する時のスペースが狭いので入口近辺が込み合うのが気になる。	・安全面などを考慮し、フィードバックの際には待合場所または個別ブースで説明の機会を設け、混雑の軽減に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	1	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	2			・遊びのスペースが広いので、のびのびと活動できているのではと思う。	・そのように感じていただけて嬉しいです。広いスペースを活かして、今後ものびのびと活動できる環境づくりに努めていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25			1	・子供の好きな事、苦手なことをテーマにプログラムが組まれていて、特性を理解されていると感じた。 ・いつも本当に救われています。	・温かいお言葉ありがとうございます。今後ともより良い支援をお届けできる様、職員一同精進してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1		3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	6	11	・その様な活動にまだ関わったことがない。	・現在、当事業所ではこのような場合は設けておりません。開催する際にはご家庭にお知らせいたします。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	3	8	・研修会が行われているのか知らなかった。	・現在、当事業所ではこのような場合は設けておりません。開催する際にはご家庭にお知らせいたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1			・最近起こった出来事等については、まだ連絡できていなかった。 ・気になることは直ぐに共有いただき、ありがたいです。	・来所が難しい際にはお電話でも結構です、ご家庭の様子をお伺いできればありがたいです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3		2	・面談に行く機会が少なくなりました。今後は頻度を増やしたい。 ・時間があれば面談をしたいです。	・ぜひお待ちしております。事前にご連絡いただくと担当指導員等と調整が可能です。※1名無回答
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26				・いつも親身に話を聴いて下さりとてもありがたく思っています。	・そのように言っていただけで光栄です。これからも安心して話していただけるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	5	14	・きょうだい向けのイベントについてはよく知らなかった。妹が居るので喜ぶと思う。	・保護者様同士、きょうだい同士の交流の場は現在設けておりませんが開催する際にはお知らせいたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23			3	・子供がヒグマを怖がって通所の時間を変えたいと言った時に、直ぐ対応して頂いた。本人、親ともに安心した。	・可能な限りご希望に添えるように致します。今後とも何かあればお声掛けください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2		6	・訓練が実施されているかは分らなかった。 ・説明は十分にいただきました。訓練に関してはまだ分かりません。	・社内研修や訓練を実施しております。今後はその様子を皆様にお知らせできる様、検討致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		10	・避難訓練が行われているか知らなかった。	社内研修、事業所内での訓練も実施しております。SNSや事業所内掲示にてお知らせしております。より皆様の目に届く形で発信できるよう改善致します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26				・先生が優しく対応してくださるので安心して通っています。 ・いつも優しく接してくださっているので不安に思っていることはないと思います。	・温かいお言葉ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1		1	・毎回来楽しみにしている。工作が特に楽しい様子。 ・毎回来たてくれないと苦しくなり楽しみにしています。 ・いつも楽しく通所しています。本人にとって心の寄り所になっていると思います。 ・いつもありがとうございます！ ・毎週、その時の振り返りに対して話を聞いてくれ、時にはアドバイスもいただき、本人にとっても重要な時間だと思っています。	・今後とも、利用者皆様に寄り添った支援を行い、前向きに通所できる事業所を目指して精進してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				・家では教えられる機会も丁寧に教えて下さってとても助かっています。 ・母子共に心強い存在となっております。いつも温かく見守っていただきありがとうございます。 ・学校では教えてくれないことを多く教えてくださり、息子にとってためになっているといつも思っています。	・温かいお言葉をありがとうございます。ご意見・ご要望・ご相談などがございましたら、いつでも職員へお声がけください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校				公表日		2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・指定基準に準じたスペースを確保しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・車いすをご利用の方への対応に関するバリアフリー化は、現時点では実施されておりません。※車いす利用者0名		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			・冬場の寒さ対策を現在実施中です。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日頃から職員同士で話し合うことができる環境作りを行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現状、第三者による外部評価の導入予定はないため、内部監査と事業所評価で業務改善している状況にあります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修や事例検討会を実施しています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・現状交流を希望している保護者様はいらっしゃいませんが、要望に応じて対応させていただきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・ペアレントトレーニングに対応できる職員が不在となります。	・今後、学びの機会を設けて職員のスキルアップを図りたいと考えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・父母会の活動支援や保護者会は、今後検討させていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的にブログやSNSの更新を行い、保護者様へ発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付き書庫等で書類を保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・利用者皆様の意向を踏まえて対応させて頂いています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・防災訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・フェイスシートに、何か書いてくださった保護者様には詳しく確認するようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・担当するお子さんのアレルギーの有無については、保護者様へ個別に確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎年、一回以上の研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			